



2025.11.19

グラウンド脇

令和7年11月27日(木)発行 11月号 題字 校長 (やちほあい)

校内球技大会の醍醐味(だいごみ)は

校 長

11月20日(木)の5、6限の八千浦タイムに、第2回球技大会を開催しました。大会の企画運営は集会委員が行いました。今回も3年生だけでなく、1、2年生の集会委員も活躍し、スムーズに、トラブルなく運営する姿を見ることは本当にうれしいものでした。

種目はバドミントンとバレーボールです。両種目は体育の授業でも取り組み、生徒たちの技術も向上しています。今回は学年対抗戦です。そうすると、「下級生には負けられない」「上級生に勝ちたい」という思いが先行するのは無理もないかもしれません。前日の夕方にグラウンドに集まって練習する生徒も現れました。校内球技大会は勝つことがいいのか、それとも別の醍醐味(だいごみ)があるのか？

開会式が終わり、競技が始まると、スポーツ好きな私は自身が学生時代に学年・学級対抗球技大会になるとクラスメイトの声援を受け、血が熱く騒いでいたことを思い出しました。競技はやはり、総合的には3年生が力を発揮していました。バドミントンは競技経験者の2年生も活躍していました。

さて、私がバレーボールを見ていた時です。バレーコートで戦う2年男子がバドミントンコートに視線をやり、大きな声でバドミントン競技の2年女子に「〇〇がんばれ!」と声援を送っているではありませんか。自分が何十年も前の中学時代に返って、女子のクラスメイトから応援された、うれしいような恥ずかしいような何とも言えない思いがよみがえりました。男女分け隔てなく、応援し合う姿、男女、クラスメイトがお互いのかっこいい姿に声援を送る姿、これこそ校内球技大会の醍醐味、スタンダードシーンではないか!勝敗なんてもうどうでもいいのではな
いか!と、あの頃を思い出しました。

対外競技大会と校内レクリエーションでは違いがありますが、楽しんだから勝つのか、勝ったから楽しいのか、楽しんだら勝敗は関係ないのか。校内レクリエーションは、男女、クラスメイトが互いに応援し、応援される、その場面があるだけで十分なのではないか。何十年もたった今、改めてそう思いました。生徒たちの頑張る姿、応援する姿を見ることができた、すばらしいひと時でした。



学校給食運営協議会がありました

11月25日（火）に学校給食運営協議会がありました。PTA 会長と理事の他4名の保護者の皆様、受託業者の北越学校給食担当者3名、上越市教育委員会担当者、学校長、教頭、学校担当者が集まり、よりよい学校給食の運営に向けて協議を行いました。

参加者はまず、給食の試食を行い、その後教室で給食参観を行いました。おいしそうに食べる生徒の姿や後片付けの様子を参観した後、協議を行いました。保護者、調理者、教育委員会、学校の給食への思いを聞き、今後も安全安心な給食を届け、生徒の心身の健全育成を行うことを確認しました。



学校事務職員の離任式と新任式



11月10日（月）に学校事務主事の産前休暇に伴う離任式と、代替事務職員の新任式を行いました。

それぞれが離任と新任の挨拶を述べ、生徒が感謝と歓迎の言葉を述べました。事務主事はしばらくの間本校を離れますが、全校で無事出産を終えることを祈念しています。

中学校入学体験実施

11月13日（木）に、小学6年生が来校して中学校入学体験が実施されました。小学6年生は、まず国語と英語の体験授業を受けました。その後、中学校1年生が班に分かれて本校の中学校生活について小学6年生に説明を行いました。クイズ形式で分かりやすく説明があり、小学生も聞き入っていました。本校1年生の説明の態度はとても立派でした。小学生がスムーズに進学できるよう、12月にはいじめ見逃しゼロスクール集会で小学生と交流する予定です。



【部活動、各種コンクールの結果】

上越中学校新人卓球大会

○卓球男子個人戦 ベスト16（県大会出場決定）2年生

上越地区読書感想文コンクール

○優秀賞 2年生

県読書感想文コンクール

○佳作 2年生

税の標語コンクール

○高田税務署長賞 1年生



総合的な学習の時間（2年）

11/27 上越タイムス掲載